

平成26年度

”札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート”活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	報告年月日: 2015/3/31
--------------------------------	---	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H26					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
<p><テーマ> 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 <活動方針> 地域から積極的に情報発信。日本全国。世界から訪れる全ての人々を温かくおもてなしする。</p>	紙媒体等による広報	「花」「学びと体験」「歴史・文化」マップの配布	ルート運営代表者会議	通年	-		ルートの魅力を伝える情報発信手法として、3年前から開始したブログは、各活動団体が有効的に活用しており、頻繁に更新されており、日々の各施設の情報がわかりやすいものとなっている。
		・雪あかりイベントのPR(チラシ)	ルート運営代表者会議	冬期(12~2月)	-		紙媒体としては、現在は各テーマ別(花めぐり、歴史・文化、体験)に3種類のパンフレット(A4サイズ)を作成・配布しているが、大きさ・種類が多いことで気軽に持ち歩きにくいことや、紹介されている資源について見直しを行い、また、シーニックバイウェイについても知ってもらいきっかけとなるように、地域資源・良好な景観箇所などを取り入れた、新パンフレット作成を試みた。(パンフレット作成委員会を設置し、検討。発行は2015年度春を予定。)
		「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2015」の作成・配布	ルート運営代表者会議	平成25年9月初旬~3月末頃まで	18,000部		今後は、手にとってもらいやすく、地域を周遊してもらえるように、より効果的な配布場所の設定を検討する。
		広報さっぽろでの活動紹介記事掲載	札幌市南区役所	平成26年8月	-		広報としては、ルートで連携した「雪あかり」イベントについて、多くの人の目に付きやすい場所に視点をあて、地下鉄中吊り広告、地下鉄真駒内駅構内での掲示、チカホ「シェルフバイウェイ」にてPRを行った。チラシ・ポスターは、ルート団体である市立大の学生デザインによる。
		新パンフレットの作成	ルート運営代表者会議	平成26年11月~平成27年3月	-	(A - 2)	
		南札幌エリアフリーペーパー「SAN」による情報発信	東海大学	平成26年8月、平成27年3月発行			
	ホームページ等による情報発信	ルートホームページの更新	ルート運営代表者会議	通年(継続)			
		ルートブログによる情報発信	ルート運営代表者会議	通年(継続)			
	様々な手法によるルートの魅力PR (PRグッズ、PRマップ等の作成、各イベント等でのルートPRなど)	ステッカー、シールの配布	ルート運営代表者会議	通年			
		地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	札幌開発建設部	通年	-		
		地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	ルート運営代表者会議、札幌市南区役所	通年			
	その他	札幌市広報番組でのPR(スタンプラリー告知)	札幌市南区役所	平成26年7月放送	-		

<p>景観</p> <p><テーマ> 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」 <活動方針> ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR</p>	モニターツアーの実施(景観)	南区活動団体・地域の 花めぐりバスツアー	ルート運営代表者会議、 札幌市南区役所	平成26年7月11日	60名	A - 1	<p>本年度は、花植え活動の見学バスツアーを実施した。活動団体同士での活動の現状を確認するためのもので、活動に関する問題点等を情報交換・共有し、継続実施に向けた工夫等を確認した。活動団体の意欲向上に繋がった。このツアーをきっかけに、南区花によるまちづくり協議会が立ち上がり、これまでシーニック団体ではなかった地域活動団体等も参加となり、新たな繋がりが広がりとなった。シーニックの団体として加入。</p> <p>新パンフレットの作成に向け、地域資源の見直しと、ビューポイント箇所についてワークショップを実施した。候補ルート時以降、ルート活動団体全体で資源の確認などをすることがなく、自分達の住んでいる地域を見つめなおす、よい機会となった。また、お互いに自分達の地域に対する考え方や愛着などの思いを語り合うことで、新たな発見もあり、貴重な機会であったと好評であった。ここでまとめた資料(地域資源)を整理し、活動団体に配布し、各団体に有効活用できるようにした。</p> <p>雪あかりに関するイベントは、実施時期は違うが、周知を併せて行うことで、認知度は上がってきているようにおもわれ、また、これまで実施していなかった地域や団体も増えている傾向にある。</p> <p>今年度においては、この「景観づくり」について、新たな動きが活発に行われ、初心に戻り、地域を見つめなおすよい年であったと考える。</p>	
	花いっぱい運動	各地区による沿道花壇の整備	各ルート活動団体	春～秋期間 (5～10月頃)	—			
	<p>各地域での「雪あかり」の取り組み、PR</p>	『真駒内地区ふれあい雪あかり』 (雪あかりイベント)	真駒内地区連合会	平成27年1月21日～23日				
		『石山スノーファンタジー』 (雪あかりイベント)	石山スノーファンタジー 実行委員会(石山地区 町内会連合会、まちづくり 協議会)	平成26年12月7日～ 平成27年3月7日	170名			
		『藻岩地区アイスクャンドル』 (雪あかりイベント)	藻岩地区町内会連合会	平成27年1月24日、25日				
		『南沢地区冬まつり』 (雪あかりイベント)	南沢地区町内会連合会 、まちづくり協議会	平成27年1月24日、25日	150名			
		『スノーフェスティバルin 澄川』 (雪あかりイベント)	澄川地区連合会	平成26年12月20日～ 平成27年2月28日	300名			
		『定山溪温泉雪灯路 2015』 (雪あかりイベント)	定山溪温泉雪灯路実行 委員会 ((社)定山溪観光協会、 定山溪地区連合町内会 他)	平成27年2月2日～8日				
		『藻岩下やさしい雪あかり』 (雪あかりイベント)	藻岩下地区やさしいまち づくり実行委員会(藻岩 下地区連合会)	平成27年2月7日、8日				
		『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』 (雪あかりイベント)	雪あかりの祭典実行委 員会(芸術の森地区連 合会、札幌市立大学、 保養センター駒岡、札幌 芸術の森他)	平成27年1月31日、2月7 日、8日、11日				
		滝野スノーフェスティバル (雪あかりイベント)	国営滝野すずらん丘陵 公園	平成27年2月7日、8日				
		みすまい雪あかり (雪あかりイベント)		平成27年2月14日				
	まちの灯りinもなみ (雪あかりイベント)		平成27年1月24日、25日					
	その他	『南沢ラベンダーまつり』	南沢ラベンダーまつり実 行委員会(南沢地区まち づくり協議会、南沢地区 町内会連合会、東海大 学他)	平成26年7月20日、21日				
ルートの魅力を伝える 地域資源の発掘&PR 媒体の作成ワーク ショップ		ルート運営代表者会議	平成26年9月24日、10月9 日	各20名程 度	A - 2			

地域	<p><テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり 	モニターツアーの実施(地域)	-	-	-	-	<p>大きなイベント等は実施せず、活動団体毎の個別の活動が目立った。地域づくりというくりにおいては、他の「景観」「観光」とも活動が重なる部分が多いため、今後も引き続き、様々な面から「道」を視点におき、地域活性化を目指した取り組みを行っていききたい。</p>
		地域一斉ゴミ拾い運動	-	-	-	-	
		札幌南オータムフェスティバル	-	-	-	-	
		自然散策、森林浴	自然散策、森林浴	定山溪観光協会ほか、ルート内各団体	随時	-	
		農業体験、果物狩り	農業体験、果物狩り	八剣山発見隊ほか	随時		
		各種イベントでの農産物販売(朝市の開催ほか)	いしやま朝市	いしやま朝市実行委員会(石山地区まちづくり協議会まちおこし部会)	平成26年4月～11月(毎月第1・第3土曜日)		
			『森の朝市(フォレストマルシェ)』	朝市クラブ	平成26年7月～10月(毎月第2・第4日曜日)		
		その他	八剣山周辺のレンタサイクル事業	ぶどうの会 他	平成25年6月～10月	-	
		地域特産物を活かした賑わいづくり					
観光	<p><テーマ> 「札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの拡充(自然体験、健康、学習) ・集客施設の回遊性向上 ・特産品の開発、PR 	モニターツアーの実施(観光)	-	-	-	-	<p>周遊してもらうためのパンフレットの意味も含めたスタンプラリーの実施は今年で5年目(候補時含)となった。冬期も楽しめる施設等があるため、実施期間を延長した。ここ数年であまり参加人数が増加がみられないため、次年度以降は掲載箇所の検討等を更に深めていく必要があると感じている。</p> <p>地域特産品の開発等は、新たな動きはないが、たまねぎすうぶなどは定着してきたところであり、販売するものによっては、ルートのロゴマークのシールを貼るなどのPRを行っている。</p>
		スタンプラリーの実施	『札幌シーニックバイウェイ スタンプラリー2014』	ルート運営代表者会議	平成26年7月1日～平成27年1月31日		
		地域特産品のブランド化	『定山溪温泉たまねぎすうぶ』	(社)定山溪観光協会	通年		
			『温たま塩ぶりん』	(社)定山溪観光協会	通年		
		森林教室	-	-	-	-	
		外国人観光客への対応	-	-	-	-	
		その他	『定山溪紅葉かっぱバス』	じょうてつバス、(社)定山溪観光協会 他	平成26年10月1日～21日		
			『定山溪温泉かっぱライナー号』	じょうてつバス	通年	-	
			札幌国際スキー場『紅葉ゴンドラ』	(株)札幌リゾート開発公社	平成26年9月27日～10月13日		

札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：南区活動団体・地域の花めぐりバスツアー（花いっぱい運動）

【概要】花植え活動（花いっぱい運動）は、ルートでシーニックの動きが始まった時から続けている、地域内の美化緑化、沿道の景観向上に関する取り組みである。今年度、南区全体が「花」によって、より良い景観づくり寄与することを目的に、景観部会が中心となり、企画・調整・運営を行い、区内の活動箇所を見学・学習するツアーを実施し、課題・問題点の共有、工夫点等の情報交換などができた。実施後の秋には、これまでシーニックには全く関わりのなかった地域活動団体もプラスして、新たに「南区花によるまちづくり連絡会」を設立、ルート団体として加わった。地域内での更なる繋がり・交流から、今後の活動の広がり期待できる取り組みである。

【日時】平成26年7月11日（金）8:50（集合）～17:00（解散）

【場所】南区全12箇所を見学

【主催】ルート運営代表者会議

【参加人数】60名（参加者40名、現地説明・参加者20名）



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

SAPPORO Scenic Byway

活動：ルートの魅力を伝える地域資源の発掘&PR媒体の作成ワークショップ
(地域の景観資源の発掘とPR)

【概要】 現在、シーニック活動の認知度や地域活動への理解(参加)などはまだ低い現状もある。当ルート・地域を特徴をまとめ周知するための広報媒体(パンフ)としては、「花めぐり」「歴史文化」「体験」の3種類があるが、このパンフレットを誰にでも手にとってもらいやすく、見た目で魅力が伝わりやすくするためとして、新パンフレットを作成することとなった。

その前段として、シーニック活動団体が、ルートの魅力(資源・景観(ビューポイント)・取り組みなど)について見直しを行い、ルート内の情報整理を行った。この洗い出し(地域資源の見直し)により、地域に対し、更なる愛着・関心が深まった。

※新パンフレットについては、このWS終了後に、活動団体メンバーで構成したパンフレット制作委員会により検討をすすめ、平成27年春に発行を予定。

- 【日時】** 平成26年 ①9月24日 ②10月9日
【場所】 真駒内総合福祉センター 2階 会議室
【主催】 ルート運営代表者会議
【参加人数】 ①24名 ②17名

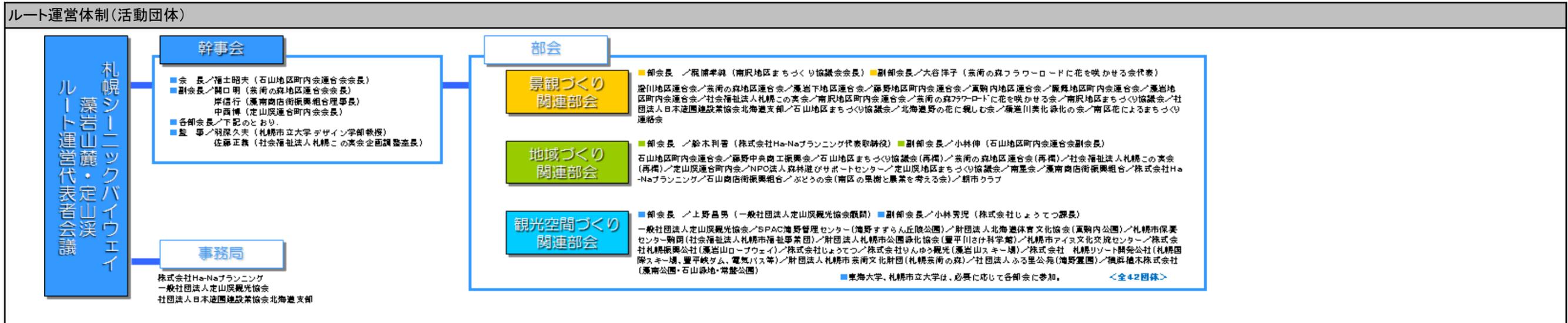


3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート運営代表者会議 代表 福士昭夫	報告年月: 2015/3/31
--------------------------------	---	-----------------

活動団体

澄川地区連合会／芸術の森地区連合会／藻岩下地区連合会／藤野地区町内会連合会／真駒内地区連合会／簾舞地区町内会連合会／藻岩地区町内会連合会／社会福祉法人札幌この実会／南沢地区町内会連合会／芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会／南沢地区まちづくり協議会／一般社団法人日本造園建設業協会北海道支部／石山地区まちづくり協議会／北海道野の花に親しむ会／石山地区町内会連合会／藤野中央商工振興会／定山溪連合町内会／NPO法人森林遊びサポートセンター／定山溪地区まちづくり協議会／南星会／藻南商店街振興組合／株式会社Ha-Naプランニング／石山商店街振興組合／ぶどうの会(南区の果樹と農業を考える会)／朝市クラブ／一般社団法人定山溪観光協会／SPAC滝野管理センター(滝野すずらん丘陵公園)／一般財団法人北海道体育文化協会(真駒内公園)／札幌市保養センター駒岡(社会福祉法人札幌市社会福祉協議会)／公益財団法人札幌市公園緑化協会(豊平川さけ科学館)／札幌市アイヌ文化交流センター／株式会社札幌振興公社(藻岩山ロープウェイ)／株式会社じょうてつ／株式会社りんゆう観光(藻岩山スキー場)／株式会社 札幌リゾート開発公社(札幌国際スキー場、豊平峡ダム)／公益財団法人札幌市芸術文化財団(札幌芸術の森)／社団法人ふる里公苑(滝野霊園)／精進川美化緑化の会／南区花によるまちづくり連絡会／藻南公園・石山緑地・常盤公園(横浜植木株式会社)／東海大学／札幌市立大学



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(全体会議)			6月5日(木)										
幹事会		5月15日(木)						11月5日(火)		1月29日(木)			
各関連部会				第1回 ●7/24景観 ●7/15地域 ●7/26観光					第2回 12月8日 ※合同部会		第3回 ●2/26景観	第3回 ●3/3地域 ●3/11観光	

ルート名称: 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者: 札幌開発建設部	報告年月: 2014/3/31
--------------------------------	--------------	-----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議											2月13日(金) ※支笏洞爺ニセコ ルート ウェルカム 北海道エリアと 合同開催		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2015/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
共通	<p><テーマ> 「住んでよし訪れてよしの都市空間」 <活動方針> 地域から積極的に情報発信。日本全国。世界から訪れる全ての人々を温かくおもてなしする。</p>	雪あかりイベントPR(チラシ)等の配布協力	平成26年12月～	札幌市、札幌開発建設部	ルート内公共施設、地下歩行空間「シェルフバイウェイ」にて配布。関連する各イベント毎のチラシ等も配布。市内各地で配布。	<p>本年度は、通年を通して地下鉄真駒内駅および地下歩行空間で情報発信支援ができたため、ルート情報の周知徹底できたように考える。 情報発信媒体として、ネット配信の場合はその場に居なくても情報をいつでも入手することができるが、今後の課題としては、高齢者等、ネットをあまり使用しない人達への情報提供のあり方について、検討を進めたい。 また、今回の災害対応情報提供のように、情報発信のタイミングなども重要であるように考える。</p>	
		ルートホームページのリニューアル、イベント情報投稿フォームの開設、ルートブログの開設と情報発信における企画運営、PR協力	通年	札幌市	シーニックの取り組みについての周知徹底、地域の顔のみえる情報提供を行うため、「イベント情報」の投稿フォームを作成。各活動団体が直接更新できる新たにブログも開設。まずは札幌の人に知ってもらうため、札幌の人がよく閲覧するブログサイト(100マイル)を選択。アクセス率も多く効果的な周知方法であるため今後も積極的に情報発信に協力していきたい。		
		南札幌エリア フリーペーパー「SAN」の情報発信の協力	平成26年6月	札幌市、札幌開発建設部	「SAN」は、東海大学の学生が取材・作成する情報誌でPRを協力。シーニック関係も含め地域情報が満載であり、今年度発行した第5号はネット配信となった。チカホのシェルフバイウェイにて配布した。(札建)		
		「札幌シーニックバイウェイルートカレンダー2015」の作成・配布協力	平成26年10月～平成26年1月	札幌市、札幌開発建設部	ルート内の魅力的な景観や集客施設を集めたカレンダーを15,000部作成。札幌市広報誌でのPR、公共施設での配布協力を行った。		
		ルート「ロゴマーク」の作成協力	通年	札幌市、札幌開発建設部	ルートロゴマークを示してあるパンフレットやポスターについては、シェルフバイウェイやチカホイベントなど幅広く周知の協力を行った。		
		地下歩行空間「シェルフ・バイウェイ」を活用したルートの活動PR協力	通年	札幌開発建設部	スタンプラリーや雪あかりのちらし配布・ポスター掲示のほか、各活動団体の取り組みをPRした。		
		地下鉄真駒内駅へのシーニック情報専用掲示板を活用したPR	通年	札幌市	札幌市(南区役所)が地下鉄真駒内駅に設置した札幌シーニック専用情報掲示板を活用してPRを行った。		

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	<p><テーマ> 「札幌の玄関口にふさわしい魅力あふれる景観づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望の優れた場所の整備と活用 ・広域的な花街道づくりとPR ・広域的な幻想空間の創出とPR 	各地区による沿道花壇の整備	随時 (春～夏頃)	札幌道路事務所、札幌市	植栽花苗の提供(国道)、活動PR	<p>・札幌開発建設部としては、昨年度開通した地下歩行空間を拠点に、市内、道内、道外からの観光客をターゲットに、札幌都心部において年間を通じてルートの認知度向上のためのPR活動を積極的に実施した。</p> <p>・また、行政連絡会議の発足を機に、関係行政機関にヒアリングを実施し、活動内容と関係機関との連携可能性を探り、情報共有を図り、今年度は雪あかりの取組においてPR支援にむけて調整を行った。他、今後の連携にむけて随時情報共有を行っている。</p> <p>・これまでもルート支援の中心的役割を担ってきた札幌市南区役所では、HPや広報誌、新聞等報道機関の活用、カレンダーやバッジなどPRグッズの開発、PRイベントの実施に協力し、活動団体と連携を密にしながら地域に根ざした情報発信を積極的に行った。地域内を中心にルート認知向上をはかり、地域の人々の理解と関心を深めるために積極的に支援を行った。地域活動への支援体制としては雪あかりの取組をはじめとする人的協力(活動参加・連携協力)も継続実施している。他、地下鉄真駒内駅でのルートの情報発信の支援も行っている。</p>	
		『石山スノーファンタジー』PR・参加協力(雪あかりイベント)	平成26年12月～2月中旬	札幌市、札幌開発建設部	札幌駅前通地下歩行空間でのポスター掲示やちらし配布、HPでの紹介、行政連絡会議関係機関への開催周知、シーニックバイウェイ支援センターへの情報提供及びHPでの広報依頼など活動PR。キャンドル点灯等の手伝いやイベント参加。		
		『真駒内地区ふれあい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		『藻岩地区アイスクヤンドル』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		『南沢地区冬まつり』PR(雪あかりイベント)					
		『スノーフェスティバルin澄川』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		『定山溪温泉雪灯路2015』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		『藻岩下やさしい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		『芸術の森地区「雪あかりの祭典」』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
		★『滝野スノーフェスティバル』PR・参加協力(雪あかりイベント)					
★『みすまい雪あかり』PR・参加協力(雪あかりイベント)							
★『まちの灯りinもなみ』PR・参加協力(雪あかりイベント)							
	『南沢ラベンダーまつり』PR	平成26年7月上旬	札幌市、札幌開発建設部	活動PR支援			

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成24年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
地域	<p><テーマ> 「自然・歴史・文化を伝え、いきいきと暮らせる地域づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の保全と活用 ・おいしく安心な食材のPR、地産地消の推進 ・交流と賑わいの創出 ・多様な媒体を活用した情報の発信 ・歴史、文化の紹介 ・健康で安心して暮らせるまちづくり 	<p>『ショッパーズ石山朝市』PR</p> <p>『森の朝市』PR</p>	春～秋期間 (5～11月上旬頃)	札幌市	活動PR支援	<p>・今後も、継続して活動が出来るよう、活動団体との情報交換を図り、行政連絡会議と情報共有しながら、地域内外の人々に活動に対する関心が高まるよう認知度向上にむけて様々な機会を活かしてPR支援すると同時に、活動団体の自主性を尊重しながら、企画や調整、参加、相談などの直接的な支援も継続して行っていきます。</p>	
観光	<p><テーマ> 「札幌の奥の深さを感じる滞在型の観光空間づくり」</p> <p><活動方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験メニューの拡充(自然体験、健康、学習) ・集客施設の回遊性向上 ・特産品の開発、PR 	『札幌シーニックバイウェイ スタンプラリー2015』チラシの配布協力	平成26年7月1日～1月末	札幌市、札幌開発建設部	区内各所の他、地下歩行空間や道の駅等にてチラシを配布。		
		★札幌市広報番組でのPR(スタンプラリー告知)	平成26年7月15日	札幌市南区役所	札幌市(南区役所)が広報番組ウォッチングさっぽろ(TVh)でスタンプラリーを広報		
		『定山溪温泉たまねぎすうぷ』のPR	通年	札幌市	ルートの特産品として、PR支援		
		『温たま塩ぶりん』PR	平成26年10月～	札幌市	ルートの特産品として、PR支援		
		『定山溪紅葉かっぱバス』PR	平成26年10月1日～21日	札幌市	活動PR支援		
		札幌国際スキー場『紅葉ゴンドラ』PR	平成26年9月27日～10月13日	札幌市	活動PR支援		
		★地下歩行空間におけるシーニックバイウェイ北海道PR	平成26年11月5日～11月25日	札幌開発建設部	<ul style="list-style-type: none"> ・地下歩行空間でシェルフバイウェイを使用して、シーニックバイウェイ北海道のPRイベントを開催 ・全ルート紹介や、パネル展示、パンフレット配布(約3,500枚) 		